

平成 30 年 5 月 7 日

各 位

船 井 電 機 株 式 会 社

代 表 者 名 代表取締役 船越 秀明
執行役員社長
(コード番号 6839 東証第一部)
問 合 せ 先 I R ・ 広 報 室
TEL : 072-870-4395

営業外費用の計上、特別損失の追加計上及び 通期連結業績予想数値の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、営業外費用の計上及び特別損失の追加計上を行うとともに、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 11 月 6 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期の連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

米ドルに対する円高による為替差損が発生いたしましたので、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、1,162 百万円を営業外費用として計上する見込みであります。

尚、平成 30 年 3 月期通期における為替差損は、1,167 百万円となります。

2. 特別損失（減損損失）の追加計上

平成 30 年 3 月期第 2 四半期の連結決算において、固定資産の減損損失 9,991 百万円を特別損失に計上しておりましたが、当社及び当社の連結子会社が平成 29 年 10 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに追加取得した固定資産につきましても、収益性が低下し、減損の兆候が認められたことから、将来の回収可能性を検討した結果、平成 30 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 2,595 百万円を減損損失として特別損失に追加計上する見込みであります。

尚、平成 30 年 3 月期通期における減損損失は、12,586 百万円となります。

3. 通期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 29 年 11 月 6 日 発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 △8,400	百万円 △8,000	百万円 △17,400	円 銭 △509.98
今回修正予想 (B)	130,100	△10,800	△11,900	△24,700	△723.94
増減額 (B-A)	△9,900	△2,400	△3,900	△7,300	
増減率 (%)	△7.1	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	133,838	△6,775	△7,726	△6,745	△197.70

4. 修正の理由

売上高については、北米の液晶テレビ市場が第 3 四半期以降において減少傾向となるなか、当社及び競合相手による市場への製品供給が過剰となった結果、競合相手との価格競争のさらなる激化により販売台数が下ぶれした影響及び製品価格が下落した影響を受け減収となりました。

営業利益及び経常利益については、液晶テレビの売上の減少に加え、価格が下落する前に調達した液晶パネル並びにそのパネルを使用して生産した液晶テレビを在庫として抱えることになり販売促進費の負担が増加したこと、液晶パネルの価格下落局面で価格競争力のある製品をタイムリーに供給できなかったこと、及び上記 1 に記載のとおり、営業外費用を計上することなどにより、いずれも減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、前述の減益要因に加え、上記 2 に記載のとおり、特別損失を追加計上することなどにより、前回予想を下回る結果となりました。

以上